

論点1

子どもたちが2度の統合を経験する（小学校で統合を経験した子どもが中学校でまた統合を経験する）ことを避ける必要があるかどうか。

論点2

中学校の統合については、急ぐ必要があるのか、時間をかける必要があるのか。

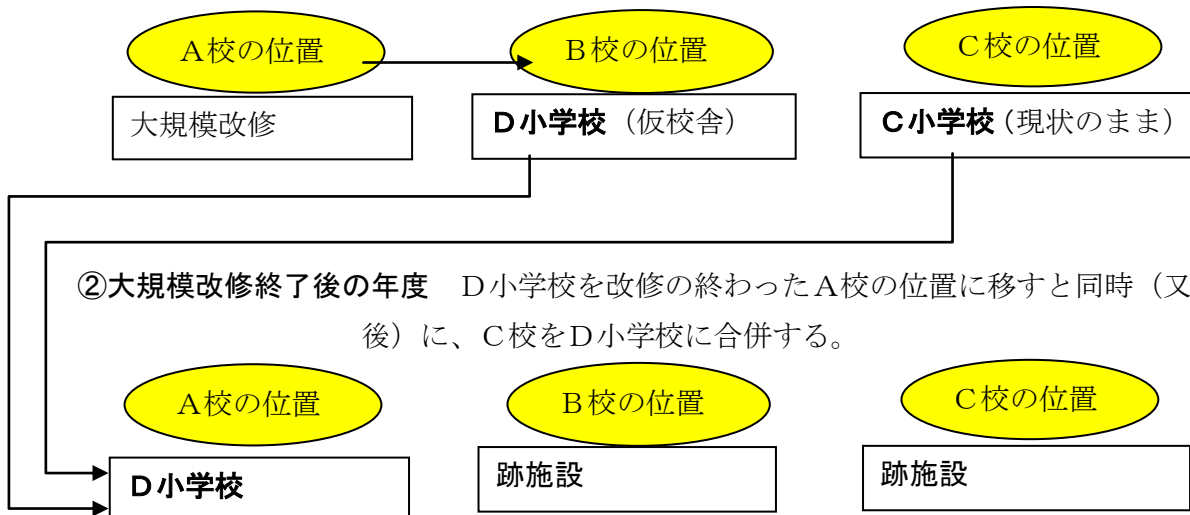
論点3

小学校3校を統合するとした場合の進め方のパターンについて、2つのパターンが考えられるが、どちらのパターンをとるべきか。

※仮に統合により新設されるD小学校の統合場所をA校の位置、仮校舎をB校の位置とする。

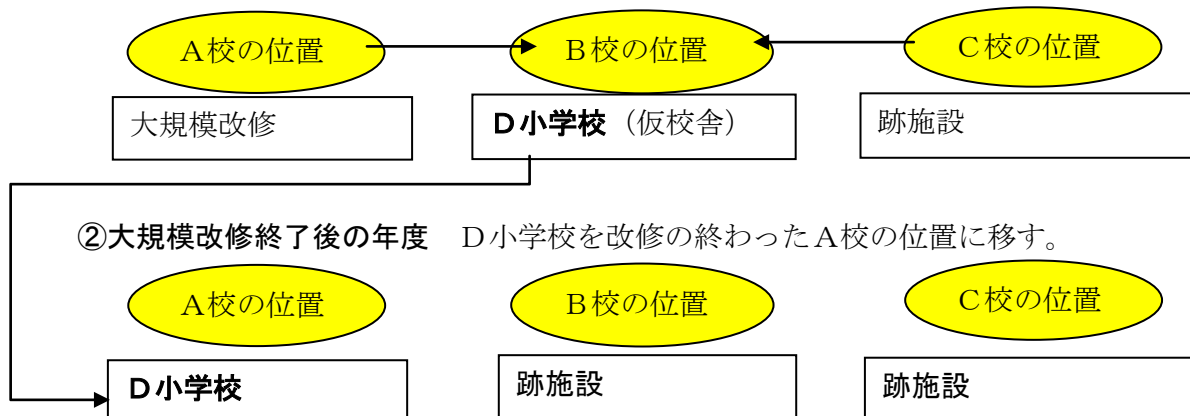
パターン1

①初年度 A校とB校を統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。その際、C小学校は現状のままとする。



パターン2

①初年度 A校とB校とC校を一気に統合し、B校を仮校舎としてD小学校を開校する。



各論点を踏まえた考察

1 論点1と論点2及び統合の順序との関係

		論点2	
		中学校の統合は急ぐ必要がある。	中学校の統合は時間をかける必要がある。
論点1	2度の統合を避ける必要がある。	① ② ③	④
	2度の統合を避ける必要はない。	小中議論がまとまったところから統合を進める。	小学校について先ず議論をし、統合を進める。

2 論点3と統合の順序との関係

		論点3					
		パターン1			パターン2		
統合の順序	統合年度	1年後	2年後以降	8年後以降	統合年度	1年後	8年後以降
①	中学校統合	A校・B校統合(例)	[A・B]校にC校合併(例)		中学校統合	A校・B校・C校統合(例)	
②	中学校統合 A校・B校統合	[A・B]校にC校合併 (1年後又はそれ以降)			中学校統合、A校・B校・C校統合		
③	A校・B校統合	中学校統合			A校・B校・C校統合	中学校統合	
		[A・B]校にC校合併 (1年後又はそれ以降)					
④	A校・B校統合	[A・B]校にC校合併 (1年後又はそれ以降)		中学校統合	A校・B校・C校統合		中学校統合

※大規模改修が1年で終了することを想定

◎統合の順序

- ① 中学校を先に統合し（例えば1年後に）小学校を統合する。  
小学校で統合を経験した子どもが中学校に進学するときには、すでに中学校は1つである。（磯辺地区が1つの中学校区となっている。）
- ② 小学校と中学校を同時に統合する。
- ③ 小学校を統合した1年後に中学校を統合する。  
統合小学校の6年生が進学する中学校は、翌年開校する統合中学校となる。
- ④ 小学校を統合した8年後以降に中学校を統合する。  
小学校の統合校が開校した時の2年生が中学校を卒業した後となる。

◎他地区の例 統合準備には少なくともまる1年かけることが望ましい。

- 真砂地区（小4校中2校同時） 統合合意：平成21年9月、統合時期：平成23年4月
- 高洲地域（高洲一小・二小） 統合合意：平成21年9月、統合時期：平成23年4月
- 高浜地域（高浜二小・三小） 統合合意：平成22年3月、統合時期：平成24年4月